

施策評価シート（平成27年度の振り返り、総括）

作成日 平成28年 04月 04日

施策 No.	5	施策名	公共交通ネットワークの整備
主管課名	企画課	電話番号	0285-83-8101
関係課名	安全安心課、商工観光課、社会福祉課、いきいき高齢課、建設課、学校教育課		

施策の対象	1) 市民及び市内の公共交通機関の利用者 2) 公共交通事業者（鉄道・バス）								
対象指標名	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	31年度見込
人口	人	82,997	82,584	82,136	81,511	80,929	80,698	80,590	80,200
事業者数	社	3	3	3	3	3	3	3	3

施策の意図	<p>1) 市民及び市内の公共交通機関利用者のニーズに対応し、便利で安心・迅速な移動ができるようにする。</p> <p>2) 公共交通事業者の安定した経営を支援する。</p>
-------	---

成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民意向調査の「公共交通の利用しやすさ」を使用する。</li> <li>いちごタクシーとコットベリー号の1日当たりの利用者数は、1年間の利用者総数を営業日数で除して算出する。</li> <li>真岡鐵道利用者数は、真岡鐵道決算資料により把握する。（SL乗車数は除く。）</li> <li>真岡駅の乗降者数は、乗る人と降りる人の1日あたりの合計人数に365日をかけて算出する。1日あたりの人数は、真岡鐵道の資料により把握する。</li> <li>バスの利用者数は、10月1日から翌年の9月30日までの、市内5路線の1年間の利用者で、バス会社の資料により把握する。</li> </ul>
----------------------------	--

成果指標名	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	31年度基本計画目標値
公共交通の利用しやすさ	%	19.5	-	16.3	19.5	20.8	33.8	32.7	35.0
いちごタクシー1日当たりの利用者数	人	-	-	36.3	72.1	82.8	75.5	73.9	83.0
コットベリー号1日当たりの利用者数	人	-	-	-	29.4	41.6	49.9	54.8	60.0
真岡鐵道利用者数	人	1,060,317	1,033,718	990,314	1,023,738	1,028,861	992,614	991,669	-
真岡駅の乗降者数	人	381,790	380,330	367,555	381,790	379,600	326,675	368,285	-
バスの利用者数	人	541,242	495,602	495,295	502,724	564,135	521,705	526,870	-

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<p>市民は公共交通の役割を理解し、積極的に利用する。</p> <p>行政は市民や利用者のニーズを的確に把握し、地球環境問題や急速に進行する高齢社会に対応した総合的な公共交通ネットワークの整備に努める。</p>
-------------------------	---

27年度の  
評価結果

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（1）施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）

いちごタクシー1日当たりの利用者数は、平成27年度は73.9人で、目的地の追加等により移動距離と時間が必要な状況となってきたため、前年度を下回った。

コットベリー号1日当たりの利用者数は、平成27年度は54.8人で、年々増加傾向にある。

真岡鐵道の利用者数は、平成27年度は991,669人で、芳賀郡市内高校の定員削減に伴う通学者の減少により、前年度を下回った。

真岡駅の乗降者数は、平成27年度は368,285人で前年より41,610人増加した。

バスの利用者数は、平成27年度は526,870人で、前年より5,165人増加した。

（2）近隣他市との比較（地域公共交通の取組状況、県内14市、平成27.3.31現在）

・コミュニティバス：13市（未実施：下野）

・デマンド型交通：10市（未実施：足利、佐野、矢板、那須塩原）

（3）住民期待水準との比較

市民意向調査では、公共交通（バス・鉄道・いちごタクシー・コットベリー号）の利用しやすさが良い、どちらかと言えば良いと回答した割合は、前年を若干下回り32.7%となった。公共交通を利用しない理由としては、自家用車を利用していることや、家族などが車で送迎してくれることなどをあげている。

また、今後力を入れて欲しい施策として、「公共交通ネットワークの整備」は26.9%（前年24.9%）で、全体で上から5番目となっており、期待水準は高い。

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

・平成23年11月から運行を開始したいちごタクシー（デマンドタクシー）は、当初は利用者が1日50～60人程度であったが、平成27年度の1日当たりの利用者数は目標75人に対し、73.9人だった。（平成27年度未登録者数：8,329人）

・平成24年10月から運行を開始した中心市街地を循環するコミュニティバス「コットベリー号」は、右回り、左回りコースを1日各8便運行し、平成27年度の1日あたりの利用者は目標60人に対し、54.8人だった。

・真岡鐵道については、安全・安心輸送の確立と利用者の快適性と利便性の向上を図るため、真岡鐵道経営計画（平成23年度から27年度までの5年間）に基づき、栃木・茨城両県及び沿線市町とともに支援しており、平成27年度は、PC枕木2,000本と並枕木1,000本の交換などを実施した。

・真岡線SL運行協議会においては、沿線市町の観光協会、JR東日本、旅行会社等と連携し、イベント列車の運行や各種事業を実施した。

・平成25年4月オープンのSLキューロク館の平成27年度の入館者数は、133,764人であった。

・バスについては5路線中2つの赤字路線に対して、県・関係自治体とともに助成し路線の存続を図った。

赤字路線名：真岡～橋場～宇都宮線、真岡～芳賀日赤・石法寺～宇都宮線 平成27年度補助金額：2,039千円

・地域公共交通のさらなる利用促進と地域への定着化を図るため、地域公共交通活性化再生法に基づいた「真岡市地域公共交通網形成計画（平成28年度～32年度）」を平成27年度に策定した。

<p>27年度の 評価結果</p>	<p>3. 施策の課題認識と改革改善の方向</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いちごタクシーについては、利用促進と利便性の向上を図るため、平成28年10月から回数券を発行する。</li> <li>・ 高齢者の交通事故防止と公共交通の利用促進を図るため、65歳以上の運転免許証自主返納者に対し、平成28年度からいちごタクシーとコットベリー号の共通無料乗車券（1年間）を交付する。</li> <li>・ 芳賀赤十字病院の移転等に対応するため、いちごタクシーとコットベリー号の運行方法の見直しを図る。</li> <li>・ 真岡鐵道、民間路線バス、いちごタクシー、コットベリー号の乗継等の連携を強化する。</li> <li>・ 真岡鐵道利用者の増加、交流人口の増加、地域の活性化を図るため、「S Lの走るまち拠点施設」との連携を推進する。</li> <li>・ 真岡鐵道については、利便性の向上と利用促進を図る。</li> <li>・ 真岡線とJR水戸線や関東鐵道常総線との連携を引続き推進する。</li> <li>・ 真岡線について、つくばエクスプレスとの連携の可能性を研究する。</li> <li>・ バス路線については、生活路線として維持確保し、地域住民の利便を確保する。</li> </ul>
<p>補足事項</p>	